

# 三高同窓会 会報



## 島根県立三刀屋高等学校

### 会長ご挨拶



雲南会会長  
福庭 祥人

いよいよ創立八十周年の慶事を迎えることになりました。三刀屋高校が歩んでまいりました八十年という歴史の重みを感じており

ます。この度永らくご尽力頂きました副会長の野々村様、田部様両先輩の引退にともな

って新しく三名の副会長を迎えることになりました。今日までの多くの先輩方のご努力とご精進に対して敬意と感謝を申し上げますとともに若い執行部を中心として、母校がさらなる隆盛

をきわめることに尽力したいと思えます。さてこの度の記念事業にあたり会員の皆様方に大変ご無理を申し上げました。期別の世話役の皆さん方には更にご迷惑をかけております。

目標に対し今一歩でございます。宜しくお願い致します。また募金と同時に多くのご意見を頂きました。母校を思うたくさんの意見を伺い一層努力をしていく所存でございます。

今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

### 新副会長 ご挨拶



これまで副会長の任を務めて頂きました野々村淳様、田部昭山様に変わりました。次の三名の方に新しくお願いをすることになりましたので、ご紹介をします。尚、福岡國夫様につきましては引き続きお願いをしております。

- 新規 杉原 隆様
- 新規 川本 博史様
- 新規 西村雄一郎様
- 継続 福岡 國夫様



雲南会副会長  
杉原 隆

雲南会松江支部長を拝命したところ、連動して本部の副会長も仰せつかることになりました。大変な重責でありませんが、母校へ恩返しの出来るチャンスと考えて頑張りたいと思います。早速三刀屋高校八十周年記念誌の編集に参画することになりましたが、教員であった者として今年から母校が普通科から総合学科へ変わることへの支援や松江市の市営野球場の近くに住んでいるので再び甲子園へ母校野球部が行くよう応援にも奮闘したいと思っております。



雲南会副会長  
川本 博史

懐かしさに誘われ、今迄に何回雲南会総会に出席したことでしようか、二つの校歌を歌い、多くの方と語ってきま

その度に、同じ学舎で学んだものが、年令を問わず会をもつということは、人生にとっても非常に有意義なことと強く感じます。年長者は若い人との、若輩は先輩との年の差を感じながらも、その地域の今の状態を良くしようと思っていることが、強く伝わります。雲南会を皆で盛りたてましょう。



雲南会副会長  
西村 雄一郎

このほど、田部昭山先生の後を受けて雲南会副会長を務めることとなりました高校二十一期(四十四年卒)の西村です。何分にも若輩で、不安が先に立ちますが、皆様とともに雲南会と母校との隆盛のために努力したいと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、母校は創立八十周年そして総合学科への変身の時を迎え、雲南会では記念事業を計画しています。各界にある卒業生の皆様のご理解とご協力を切に願っています。



# ご挨拶



校長  
**高野良彦**



雲南会の皆様方におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は母校三刀屋高校の教育に対し格別のご支援を賜り誠に有り難うございます。

さて、学校の状況についてであります。平成15年3月における大学進学などの進路状況は国立大学が40名、私立大学が75名でこの他に看護系の短大・専門学校などよく頑張りました。就職でも、公務員関係が7名、一般企業が県内外併せて25名で非常に厳しい就職状況でしたが100%の内定を得ることが出来ました。

本年度の卒業生につきましては、センター試験が終了したばかりで、はっきりとしたことは分かりませんが就職希望者の内定状況は昨年同様100%でした。

部活動におきましては、男女のソフトボールがインターハイへ向けての強化チームに指定されており着実に力を

つけてきております。

今年は何んと言いましても、平成16年度に向けての準備の年でした。インターハイ、総合学科、本校創立80周年とどれをとっても超大型で、それが来年度、一度にやってきました。

インターハイにつきましては三刀屋と木次が女子の大会会場になり準備が進められております。運営に当たっての総予算額は940万と聞いておりますが、木次球場の改修費は1億を超えるとかで地元の協力無くしては絶対に不可能でした。本校生徒も全員が一役活動で参加します。

総合学科につきましては、総合学科棟の建設、既設校舎の改修、敷地の整備など総額6億3千万の事業ですが、今のところ前庭東にありました記念館「蒼雲館」を中の荷物はそのままの状態以西に20メートル移動しました。これに併せて内部の改修を一部行い資料

など整理をする考えです。

総合学科としてのカリキュラムや校外研修などの検討も順調に進んでおり、4月には総合学科として初めての入学生を迎えます。入学から卒業まで綿密な計画のもとで、生徒達は充実した学校生活を送ることができると思っています。

総合学科と言いますと、島根県では4番目ですが、今までの3校の専門高校からの改編と異なり、普通科を進化させて進学に重点を置いたものであります。本校の80年の歴史は普通高校であり、進学校でもありました。その流れは今後も変わりません。

最後に、創立80周年事業につきましては、総合学科への改編を学習面の強化と位置付け、同窓会の福庭会長様より、学校教育のもう一つの柱であります部活動強化の指摘もあり、検討させて頂きました。その結果、雲南会を中心とした80周年記念事業実行委員会を立ち上げていただきました。学校後援会のご支援を受け記念事業として、同窓会名簿の作成、記念誌の編纂、部室の整備、記念式典を計画しました。会員の皆様方にはご理解頂き、是非ご協力いただきませうようお願い致します。

## 普通科から進化した学科

### 三刀屋高校総合学科

総合学科企画室長

竹田 茂



すでにご承知のとおり三刀屋高校は、平成16年度の入学生より、島根県内では初の、普通科から改編された総合学科へと生まれ変わります。

総合学科に改編されるというところで、普通科の歴史を変え、松江農林高校や瀬摩高校の総合学科のような専門高校に変わるのではないかというイメージを抱かれる心配の声が中学校の保護者の方々や卒業生の方など様々な方面から聞かれました。

しかし、三刀屋高校の総合学科は従来型の総合学科とは違います。普通科の精神を踏襲し大学進学を目標にし、短大や専門学校への進学、公務員や一般企業への就職にも対応できる学科です。従来のものであった希望や個性に対応できる教育を実現するために総合学科に変わるわけです。

したがって、三刀屋高校は普通科の精神を受け継ぎ、さらに発展するために総合学科に進化すると言った方がよいかもしれません。

それでは、総合学科ではどのような教育をするのかへ三刀屋高校 総合学科の3年間(表一)を参考に具体的に説明しましょう。

総合学科では、今までの普通科と違って、1年生の早期から、自らの「生き方・在り方」を考え、自らの夢を実現するために興味・関心、適性等を考慮しながら、自分の進路目標について考え、2・3

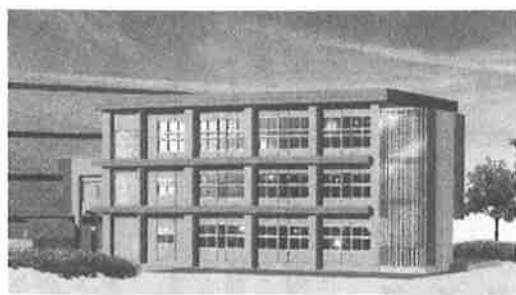
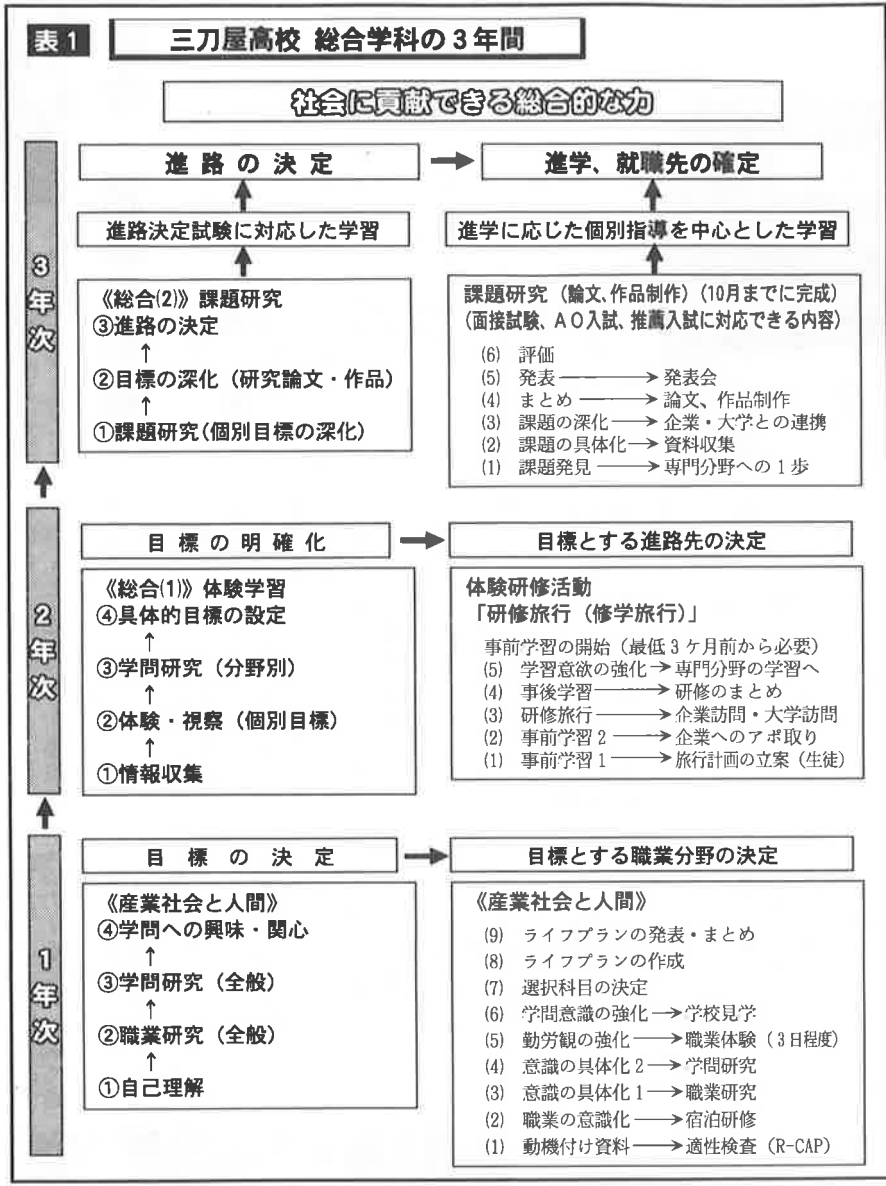


図1 総合学科棟 完成予想図

年生ではそれぞれの目標や希望に応じて選択科目を決めて授業や研究をすることにります。  
 進路目標を考えながら、選択科目を定めるために、まず1年生で「産業社会と人間」という授業を学習します。①自分についての知や適性についての知や、  
 ②自分に適した職業について、どんな知識や能力、技能や経験、資格が必要なのかを知り、③どんな学問を学ぶ必要があるのか、  
 ④高校生のうちに、必要な学習は何かを体験を交えながら学習します。  
 2年生では、進路目標を明確にするための体験学習として、企業見学や大学訪問を目的とした研修旅行を実施します。東京方面の最先端の企業、大学の授業や研究の様子を取りし、インタビューをする  
 ことで刺激を受け、自らの進路



**表2 系列と進路**

1年	2年	3年	目指す生徒像	想定される進路
共通	人文学	人文系の学究タイプ	人文系の学究志向	大学の文系学部
	人文情報	人文系の実学志向	人文系の実学志向	文系進学、就職
	総合人間	幅広い教養と感性	幅広い教養と感性	実技系進学、就職
	理数科学	理数系の学究タイプ	理数系の学究志向	大学の理系学部
	理数情報	理数系の実学志向	理数系の実学志向	理系進学、就職

① 3年生では、自らの進路目標をより確かなものにする  
 ことにより、学習意欲の向上  
 につなげるものと思えます。  
 3年生では、自らの進路目  
 標を具体化させるためにより  
 深い学習をする時期です。自  
 らが定めた職業や学問につ  
 てより深く学習・研究するた

めに課題研究を行い、論文や  
 作品として発表します。この  
 課題研究の内容は、面接試験  
 や、推薦試験の資料としても  
 活用できるものです。  
 このほかに、総合学科の特色  
 として系列(表2)と小人数  
 指導による選択科目があります。

さて、学習面の変更とも  
 に、校舎の増改築も行われま  
 す。まず、増築部分として総  
 合学科棟(図1)が記念館を  
 移設した跡地の校舎前庭部分  
 に、平成16年11月中旬完成の  
 予定で建設されます。  
 また、既存の校舎の内部も

一部改修されます。その中で  
 も、コンピュータ・L・L教  
 室は県内初、全国的にも数少  
 ない施設です。すべての工事  
 の完成は平成17年3月上旬の  
 予定です。  
 生まれ変わる三刀屋高校に  
 ご期待ください。



懐かしい顔が集い!

# 雲南会総会・懇親会開催

雲南会総会実行委員会事務局

堀 江 安 男

(高校24期卒)



雲南会会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年は、例年に比べ、梅雨明けが遅れ、日照不足と低温による稲の実りが心配される

八月から一転残暑厳しい九月を迎えておりました。田圃の稲は実りが少ないながら頭を垂れ始め、あちこちで稲刈りが始まり、小学校や幼稚園の運動会が開催される、初秋の九月二十一日(日)に、三刀屋町農村環境改善センターにおいて、平成十五年度雲南会総会並びに懇親会が、多数の会員の皆様のご出席により盛大に開催することが出来ました。このことは、懇親会のお世話をさせて戴きました私たち実行委員にとりまして、この上ない喜びであり、厚く御礼申し上げます。

総会並びに懇親会の開催にあたっての諸準備や当日の運営については、



平成十二年度より卒業三十周年を迎えた期が担当することになり、今年度は私たち高校生(昭和四十七年三月卒業)がお引き受けしました。

一昨年、三刀屋町民文化体育館アスナルで開催された「十四年度総会」後の懇親会において、次年度担当として紹介され、ステージ上で福

庭会長様、運営を担当されていた二十三期都間実行委員長様より期代表が激励を受け、事の重大さを認識していたものと思います。

昨年の正月に、帰省者を含め多数の参加で同窓会を盛大に開催することが出来ました。その席上、秋の雲南会総会の運営担当を報告し、協力をお願いしました。

地元に残る期の仲間を集めて第一回の会議を開催したのが六月初め、期代表の入院や家庭事情で協力できない同窓生が出るなど、先行き不安に陥ったりした時期でした。

こんな時に頼りにさせて頂きました前年度担当二十三期事務局並びに雲南会事務局の先生の的確なご指導・ご助言を受け、会場の決定及びアトラクション選定など、一歩一歩足元を固めて行くことが出来ました。

総会と懇親会の会場が一緒ということでの時間的に運営が可能であるのか、悩みは尽きませんでした。しかし、当日会場に用意した椅子が総会終了時に足りないことが判明し、急遽用意することになるなど多数の会員の皆さんのご出席で盛大に開催することが出来ました。また、参加された会員の皆さんからお褒めの言葉や、労いの言葉をいただくにつけ、ご満足いただけたのだ

と実感した次第です。当日協力するために遠く倉敷や松江、出雲をはじめ近隣町村からの仲間二十数名の一致団結した力の結果があったからこそ運営できたのだと思っております。

総会は定刻に開催され、母校の近況について高野校長先生より、「十四年度会務・会計決算」の報告、「十五年度会務・会計予算」の報告および、「平成十六年度を迎える創立八十年記念事業」等について事務局より報告がありました。また、遠来の支部参加者から母校や雲南会に寄せる熱い思いや期待が述べられ、予定の時間を大きく上回る熱気溢れる総会となりました。

総会終了後、アトラクションとして、母校吹奏楽部による演奏があり、会場一杯に響いた演奏は大きな感銘を与えるものでした。また、アンコール曲として、母校校歌、応援歌が演奏され、参加された皆さんが曲に合わせて口ずさまわれる姿が印象的でした。

懇親会は、影山掛合町長様のご発声による乾杯で開宴し、稲岡恵子さん、飯石佳己さんの司会で、賑やかにそして和やかに進んでいきました。ステージで三刀屋町給下「五月会」の皆さんの踊りが披露さ



れるなか、会場のあちこちで限られた時間の中、時の過ぎるのを忘れ、旧交を温める皆さんの姿がありました。

改めまして、ご出席いただきました皆様には厚くお礼申し上げますとともに、総会、懇親会において、準備、気配り等不行き届きな点がありましたことをお許しいただきたくと存じます。

終わりにりましたが、平成十六年度八十周年を迎え、総合学科が開設される母校三刀屋高等学校と同窓会「雲南会」のますますの発展と会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、総会並びに懇親会の報告とさせていただきます。

# 支部だより

## 新幹事会で新しいスタート

東京支部長  
景山 紀



常日頃より、会員はじめ、母校等関係者の方々には、深いご理解と暖かいご支援、ご協力を頂き、雲南会東京支部の運営と活動が順調に行われておりますことは、誠に有難く、皆様に深く感謝申し上げます。さて、雲南会東京支部は、一昨年創設45周年を迎え、松村前支部長を中心に盛大に総会を開催し、記念誌を発行することができ、益々発展してまいりました。

れ、支部長を辞任されることとなり、急遽支部長の任を指名され、大役を引き継ぐこととなりました。

大先輩の歴々たる方々が居られるにもかかわらず、私のような者が大役を仰せつかり、甚だ力不足ではございますが、同期の皆さんからの激励を受け、お引き受けすることに相成りました。微力ではございますが、雲南会東京支部が今後も楽しい出会いの場として発展するよう、尽力していきたいと思っております。何卒、一層のご支援、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

新幹事会の責任者を紹介申し上げます。

新支部長

景山 紀 (高11期 昭34卒)

新幹事長 (事務局)

天沼 勝 (高27期 昭50卒)

新会計幹事

今井 小南 (高13期 昭36卒)

昨年は、新幹事会での最初の活動で、なにかと手探りで進めてまいりました。大阪支部と本部の総会にも参加させて頂きました。その節は大変お世話になりました。また、杉山昭前幹事長はじめ多くの方々のご尽力により、6月7日(土)食彩いやし家トリトンスクエア店で、「三刀屋高校同窓会(雲南会) 東京支部の集い2003」を無事開催できました。

例年、開催場所の設定には大変苦労しておりましたが、今回は、大阪支部の総会で再会した同期でもある吉原伸行さんに、素晴らしい会場と、多大なご支援もあわせて頂き、今回の総会を開催することができました。

考えますに、ただ一支部内の活動で終わるのでなく、各支部や、いろいろな会が重なり合って、出合いの輪が広がることで、更に支部の発展に繋がるのではないかと思います。今回、大阪支部の吉原さんとの再会は、まさに支部を超えた協力の賜物とここに改めて感謝申し上げます。

昨年末、中央区日本橋(三越日本橋店の前)に島根物産館ができ、島根の懐かしい物産が販売されています。隣には「テレスコ」という食事ができる店もできて、島根の郷土料理を食べることができ、島根のお酒もいただけます。今年の総会に向け、いろいろ打合せする場所として利用するようになりました。今年の総会の準備に、懐かしい料理を食しながら打合せしております。詳細等決まりましたらご案内申し上げます。

つきましては、会員の方々をはじめ、各支部及び母校関係者等の方におかれましては、一層宜しく、ご支援、ご協力の程お願い申し上げます。

## 支部報告

大阪支部長  
高尾 善房

創立80周年、ふる里を遠く離れて暮らす大阪から記します。同窓会員の年齢も老いた者、若い者と差が大きいく仲々派手な活躍が少ないです。

高速道路が開通し、三刀屋を近くに感じています。この先掛合や三次への建設が気にかかります。

雲南市が誕生するとのうわさを聞きますが三高雲南会とよく似て親しさが一層増してきます。

今回は叙勲受賞の便りを報告します。元大阪支部長山田廣義さん(76)が昨年11月6日に皇居豊明殿において天皇陛下から夫婦揃って拝謁の栄誉を賜り瑞宝単光章を拝受されました。

大阪支部の有志が集まって12月14日宝塚歌劇場の南西約500メートルの宝塚荘で祝賀会を開催いたしました。その懇親会のなかで話し合った内容をお知らせいたします。

山田元支部長は昭和19年4月に神戸高等商船学校(現神戸大)に入学され、第二次世界大戦の終戦を経て卒業され、海上勤務を始められ、その後

敗戦のためフィリッピンからの復員兵の輸送から始まり、朝鮮南北戦争では、国連軍の敵前上陸にはアメリカの上陸用舟艇に乗り組まれ仁川上陸、元山撤退の作戦には日本の船舶運管会から従事されました。その後日本の復興で日本の海運は世界に向かって発展し、七つの海を航海されました。パナマ・スエズ各運河を70回以上通った経験があるそうです。私達、山陰地方の山の中で育った者には経験した事がないのではないかと存じましたので簡単ではありますが、山田さんの38年間の苦難の多かたを海上勤務をたたえ報告をさせていただきます。



(終)

# 25期30周年記念同窓会

塔間 浩  
(高校25期卒)

私たちは、三十年前に三刀屋高校を卒業しました。一九七二年は、日本中の目がテレビに釘付けになった浅間山荘事件の発生、沖繩の本土復帰、ミュンヘンオリンピックでの男子バレーボールチームの優勝(個人的な思い入れ)、そして電撃的な日中国交樹立等々、様々な大きな出来事が起こった激動の年でした。多くの矛盾や課題を抱えつつも、まだまだ日本に元気があった時代でした。さらに、卒業アルバムを開いてみると、そこには制服を着た初々しい高校生の私たちが写っています。本当に三十年という年月の長さを感じました。

しかし、同窓会の会場で同級生に会うと、「やあ」「元気だったか」「どげしとーや」という簡単なやり取りで、三十年という年月を一気に飛び越えてしまえるのは何故なのでしょう。その間、私たちがそれぞれが違う人生を歩み、いろいろなものを背負い過ごし

てきており、その頃とはまた違う自分を作り上げてきているはずで。それなのに、一気にあの頃へ戻ってしまえるのが同窓会というものなのでしょう。

私たち二十五期生の三十年記念同窓会は、昨年八月十六日に三刀屋町農村環境改善メインセンターで行いました。一昨年、在郷の同窓生を中心に準備を進め、当日は六十七名の同窓生の参加を得て、盛大に開催することができました。また、当時三年部担当として公私共にお世話になった石倉国男先生、植田瑞穂先生、恩田謙二先生、古浦秀明先生、中原信雄先生、西村允夫先生、和田智先生、和田淑彦先生(五十音順)にご出席頂き、同窓会を一層意義深いものにして頂きました。

先生方は、当時の姿の上に貫録を加えられているだけなのですが、私たちはそうはいきません。体型、容姿、頭髮等々、三十年前とは大違いで

す。しばらくは、相手が誰なのかを探りあい確認する姿も見受けられましたが、すぐにあちらこちらから当時のニックネームでお互いを呼び合う声、にぎやかな話し声や歓声が聞こえてきました。また、

ながら語り合うことができなした。参加者全員が、本当に楽しいひと時を過ごすことができましたと確信しています。三刀屋高校は、私たちにとって一つの原点です。昨今の長引く不況を始めとする社会状況は、家庭・職場・地域等で重い責任を負っている私たちの年代には、ひととき厳しいものがあります。その中で、私たちは、毎日懸命に働き、生活しているわけですが、この同窓会がわれわれに、明日に向けての元氣・勇気・意欲を与えてくれたという思いを強くもっています。やはり、私たちが何かにつけて帰るのは、故郷であり母校であると思います。卒業四十年での再会を期してそれぞれの生活の地に散っていきました。三刀屋高校二十五期同窓



恩師の先生を捕まえて話し込む姿も見られました。かく言う私も、卒業以来三十年ぶりに初めて会えた友達があり、高校時代の懐かしい話、ちょっと恥ずかしい話など大笑いし

た。三刀屋高校二十五期同窓

生としてのこの絆を、これからも大切にしていきたいと思っています。さて、今年は、三刀屋高校創立八十周年という記念すべき年です。更に、平成十六年度は、普通科高校から総合学科の三刀屋高校に生まれ変わり、新たなスタートをきる年でもあります。このような大きな区切りの年の雲南会総会の運営を、わが二十五期生が受け持つことになっていますが、その責任の重さに身の引き締まる思いがしています。昨年の総会には、私たちも参加させて頂きましたが、二十四期の先輩方が立派に運営され、盛會裡に終えられましたこと、心より敬意を表したいと思えます。われわれ二十五期生も、諸先輩に教えを受けながら精一杯努めたいと思えます。どのようにすれば、参加された皆様に満足していただけか、これからの在郷同窓生で知恵を出し合い準備していきたいと考えています。つきましては、詳細が決まりましたらご案内申し上げますので、多くの皆様に参加いただきますようよろしくお願いたします。

# 我が母校「創立八十周年」 を迎えるに当たって

雲南会校内幹事長

中 村 七 朗

大正十三年四月に島根県立三刀屋中学校として創立された我が母校は、今年創立八十周年を迎えます。また、時を同じくして、現在の普通科から、島根県では初めての進学を主とした総合学科に生まれ変わるようになりました。

その経過を簡単に報告いたします。

### 平成十五年

四月 八十周年記念事業校内方針決定

五月 PTA総会にて概略説明  
雲南会臨時幹事会  
雲南会として支援要請決定

七月 学校後援団体役員会  
後援団体として支援決定

八月 第一回記念事業実行委員会  
規約・組織・構成員  
事業計画・予算、募  
金計画、事業推進方  
法等を決定

九月 雲南会役員会  
雲南会として支援正  
式決定  
第一回常任委員会  
募金方法の決定  
第一回要請  
(十月、十一月)  
卒業生全員に一括要請  
雲南会総会  
雲南会として支援了承

三月には男子、女子ソフトボール部の全国選抜大会出場が決まっています。また、その他の運動部、文化部とも、この寒い冬場でも、四月からの躍進を目指して毎日元気に活動しております。

上 募金・期別代表者合同  
部会

### 第二回要請

(二月、三月)  
期別対応決定

三月 募金・期別代表者合同  
部会予定  
以後の対応協議

以上のような経過を踏まえて、十月より募金活動に取り組んで参りました。しかしながら、社会情勢の厳しさの中、思うように浄財は集まらず、頭を抱えている状況です。全国で活躍されている一万三千余名の卒業生の皆様にお願ひしたところ、第一回要請を締め切った昨年十一月末までにやっと六百四十名(約四百万円)の方々にご協力頂く事ができました。この結果を受けて、急遽、期別代表の方にもお集まりいただき、各期ごとに対応するよう決定していただきました。現在、第二回要請として二月末を締め切りとし、各期毎に取り組んでいただいているところです。  
(二月二十日現在、一、一五〇名の方々にご協力いただきました)  
昨今の厳しい時節柄、とても心苦しく思いますけれども、どうか主旨をご理解の上、浄財募金へのご支援ご協力をいただきますよう、改めてお願い申し上げます。

(事業計画概要)

一、部室整備	二、七〇〇万円
二、八ノブ(吹奏楽部楽器)	三〇〇万円
三、記念碑	五〇〇万円
四、記念誌発行(A4版250ページ)	三〇〇万円
五、卒業生名簿発行(同窓会)	三〇〇万円
六、記念式典祝賀会記念品	一五〇万円
七、事務諸経費	二〇〇万円
合計	四、〇〇〇万円

(予算)

一、卒業生(同窓会)寄付	二、五〇〇万円
二、後援会寄付	五〇〇万円
三、特別寄付	二〇〇万円
四、PTA積立金	五〇〇万円
五、卒業生名簿積立金(同窓会)	三〇〇万円
合計	四、〇〇〇万円



(部室完成予想図)

## 80周年記念事業 実行委員会構成員

### 顧問

- 竹下 巨(衆議院議員)
- 景山俊太郎(参議院議員)
- 上代 義郎(県議会議員)
- 内田 敬(県議会議員)
- 福岡 賢造(県議会議員)
- 陶山 吉朗(元島根県教育委員長)
- 山根 豊繁(木次町長)
- 田中 喜文(掛合町長)
- 影山 眞(吉田村長)
- 堀江 一郎(仁多町長)
- 岩田 雄一(加茂町長)
- 速水 哲三(頓原町長)
- 本田 林(前雲南会会長)
- 山根 隆(前体育後援会長)
- 都間

### 参与

- 永塚 久守(三刀屋町教育長)
- 永瀬 豊美(木次町教育長)
- 藤坂 一之(掛合町教育長)
- 森山 泰孝(吉田村教育長)
- 土江 博昭(加茂町教育長)
- 都間 正隆(前PTA会長)
- 福庭 祥人(同窓会会長)

### 委員長

- 佐藤 弘之(PTA会長)
- 周藤 哲朗(体育後援会長)
- 谷戸 邦夫(三刀屋町助役)
- 高野 良彦(学校長)

### 理事

- 福岡 國夫(同窓会副会長)
- 杉原 隆(同窓会副会長)
- 川本 博史(同窓会副会長)
- 西村雄一郎(同窓会副会長)
- 松田 夏夫(教頭)

岩田 敏則(本校事務長)

幹事 広沢アサ子、清水 章右

小田川耕造、石飛 友江

藤原 政文、妹尾 幸二

錦織 達郎、佐藤 文宣

部長・副部長

募金部会部長

福岡 國夫

募金部会副部長

中村 七朗

80周年記念誌部会部長

杉原 隆

80周年記念誌部会副部長

中村 七朗

卒業生名簿部会部長

西村 雄一郎

卒業生名簿部会副部長

稲村 隆

記念式典部会部長

川本 博史

記念式典部会副部長

勝部 秀子

監事

藤原 克美、錦織 達郎

(同窓会監事)

事務局員

事務長、事務次長  
中村 七朗 以下校内幹事



# 先輩のこゝろ

～一年生進路講演会より～

平成15年10月22日に、本校において3名の卒業生を迎えて、一年生を対象に文理コース選択の目的に、進路講演会を実施しました。

3名それぞれの内容は、後輩に対する厚き想いに溢れていました。

## 講師1

「理系」大坂 伊作

平成15年島根大学総合理工学部地球資源環境学科修士課程卒、出雲市イズテック勤務  
●「私の場合、真実を見つめる(真理の探究)ために理系に進んだ。今やっている勉強がどう役立つかは高校時代には分からなかったが、大学に入って、ある講義で学問の『イメージング』をする作業

をやる中で、その意義がわかってきた。学問の意味がわかり、学んだことが生かされるのは大学に入ってからや社会人になってからである。」

## 講師2

「文系」佐藤 真由美

平成12年山口大学教育学部初等教育教員養成課程卒  
現在 出雲市四絡小学校勤務  
●「将来になりたい仕事や、やってみたいビジョンがあるかどうかよく考えてみる。もし、これといてないのなら得意科目あるいは得意なことを活かす選択肢を考えてみる。」

●「部活動と勉強との両立は簡単なことではないが、せめて宿題だけはやる。」  
●「受験は人生の岐路を選ぶ過程だから、確かに辛いものがあり痛みがつきまとうものである。…英単語はトイレ、洗面所や冷蔵庫などに張って覚えた。(苦学劣話)」

●「大学時代はいろいろな経験を積むことができる。一種の猶予期間である。海外留学などは、学生時代に勧めたい。」

## 講師3

「文系」白築 史雄

平成15年島根大学法文学部法文学科入学  
●「目標(模範・手本)となる先輩や周りにいる友達(学友・ライバル)をもつことが大事。競うことで、自分を励まし磨いて欲しい。友人と点を競ったり、一日の目標をメモしていた。」

●「部活動(野球)との両立には苦労した。寮生だったので、どんなに疲れていても毎日2時間の学習時間を有効に

## 「日々の変化を感じて」

山口大学文学部 言語文化学科  
飯塚 久美

利用した。最初は集中できないこともあったが、時間をみつけて取り組んだ。時間が制限され平日できない分は、土日曜の半分は時間がとれたので、予習だめをした。やることをやれるときにしっかりやる、そうしないと後で痛い目に遭う。野球と同じで勉強にも集中力を養う必要がある。」

受験生活は昨日のこのように思い出されるのに早いものでもうすでに大学での一年が過ぎようとしています。入学当初は一人暮らしや講義体など戸惑うこともありましたが、すぐに慣れて楽しく過ごしています。

私の学部は一年から専攻コースがわかれるので今年文・理問わず幅広い分野の講義を履修し、「絵本の教授学」や「時間を実在するか」といった興味を引くような講義を受講しました。さまざまな講義を受けることで以前は選択肢になかった分野にも魅かれ出し、今では入学前に希望していたコースとは別のコースを専攻したいと考えるようになりました。

クルに入り曲作りや練習に励んだりアルバイトをして語学学校へ通ったりと、一日二十四時間では足りないと思う日々を過ごしています。まわりには交換留学が決まった友達や県外でもライブを行う先輩など、やりたいことをどんどん叶えている人が多勢います。大学は本当に多くの出逢いがある、それは人だったり講義だったり体験だったりするのですが、全てが影響を与えてくれます。興味も夢も考え方も毎日少しずつ変化していきます。溢れる程の刺激を柔軟に吸収して自分の糧とし、少しでもやりたいと感じたことは全部行動に移して有意義な大学生活を送れるよう頑張りたいと思います。



# 進路指導室だよ

進路指導部長

渡辺 克人

兎追いし かの山  
小鮒釣りし かの川  
夢は今もめぐりて

(中略)

志を 果たして  
いつの日にか 帰らん  
山は青き 故郷  
水は清き 故郷

放課後、三刀屋高校吹奏楽部の合同練習のはじめに決まって流れてくる曲が、この「故郷」です。最近童謡が見直される中、今年に入って隔週刊「日本のうた ころの歌」明日へ残したい名曲選〜創刊号の筆頭に挙げられたのもこの歌です。私は島根県内でも長い歴史と伝統を持ち、地元雲南に根ざした三刀屋高校にふさわしい歌であり、第二の三高校歌(学園歌)のような気持ちで、毎日吹奏楽部の名演奏に耳を傾けています。また、歌詞についても三番の「志を……」に心を動かされる人は多いようです。先日のNHKのラジオ放送でも日本

の童謡を中国語に翻訳し海外にも紹介しておられる中国の方が、母国を離れて仕事をしても勇気を与えてくれる最も好きな歌詞であると述べておられました。

前置きが長くなりましたが、三高同窓会の皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。本校の教育活動に対して日頃より格別ご支援を賜り心より感謝いたしております。進路指導につきましても引き続きご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

さて、昨年の進路状況についてご報告させていただきました。就職につきましても求人数が大幅に減少し厳しい就職環境の中、希望者全員の決定を見ました。その半数以上が県内の地元就職ということで、雲南の地の発展にも大いに尽くしてくれるものと期待しているところです。

また進学につきましては地道な努力が実を結び、国公立大学は四〇名が合格、中でも旧帝大医学部等の難関校へも合格しております。他にも各々

が希望する上級学校へ多くの生徒達が努力を積み重ねた結果合格していきました。今後、これらの卒業生達がそれぞれの場所で大きく成長し、活躍してくれることを願わずにはいられません。

次に、本年度の進路状況について中間報告をさせていただきます。一月末現在の状況は下記の表の通りです。就職は厳しい就職状況の中、現段階で希望者の全員が内定をみております。また、公務員につきましても根強い人気に加え、採用枠の減少が続く、相変わらずの高倍率の難関となつていますが、地元県職や町職にも合格者が出ております。

また、進学につきましては四年制国公立私立大学・公立短大・医療福祉専門学校等人気の高い学校で、昨年の同時期の数を上回っており、これからの健闘を期待したいところです。センター試験も終わり、大・短大等の入試も本番を迎えています。今年も最後の追い込みをはかるべく、補習授業等に専念し磨きをかけています。昨年もセンター試験の持ち点を次の個別試験で挽回し逆転勝利を修めた者も多くいました。また、国公立大学の前期試験に失敗してもあきらめず努力し続け後期試験で見事合格した者もいました。

## 平成14年度進路状況

( ) 過年度卒

	国公立大学		私立大学		国公立短大		私立短大		看護学校		医療福祉専門		各種専門		補習科その他		就職		公務員	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
合格者延べ数	19	21	39	36	12	3	24	16	5	17	14	20	6	6	13	12	6	1		
	(4)	(3)	(6)	(6)								(1)								
計	40(7)		75(12)		12		27	16		22	34(1)	12		25		7				

このように最後まであきらめない努力と姿勢が結果に繋がったと思います。現三年生も年末始め受験勉強に専念し着実に力をつけてきました。今年も最後まで持てる力を存分に発揮して、好結果を残してくれることを願うと同時に、全力で最後まで応援していきたいと思っております。

## 平成15年度進路状況

H16年2月20日現在

	国公立大学		私立大学		国公立短大		私立短大		看護学校		医療福祉専門		各種専門		補習科その他		就職		公務員	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
合格者延べ数	9	2	20	23	1	9	1	16	1	8	14	15	19			9	10	3	1	
計	11		43		10		17	1		22	34			19		4				

山は青き 故郷  
水は清き 故郷  
最後に、この歌の終わりにあるように、果立ちゆく生徒達が懐かしく振り返ってくれるようにいつまでも変わらない母校でありたいと思っております。



部活動報告

体育部

男子バスケットボール部

〈県選手権〉
一回戦 三刀屋22-72松江高専
出雲地区新人戦
一回戦 三刀屋109-16平田
二回戦 三刀屋66-92出雲
〈県新人戦〉
一回戦 三刀屋58-67松江北
女子バスケットボール部

女子バスケットボール部

〈県選手権〉
一回戦 三刀屋66-70明誠
出雲地区新人戦
一回戦 三刀屋32-34平田
三刀屋50-89出雲商業
三刀屋0-6出雲工業
〈一年生大会〉
男子シングルス
小林和(2回戦敗退)、陶山(1回戦敗退)
女子シングルス
小林奈(1回戦敗退)、古山(1回戦敗退)
〈県新人戦〉
男子団体 三刀屋0-3松江商業
男子ダブルス
小林和・陶山(2回戦敗退)
女子ダブルス
小林奈・古山(1回戦敗退)
男子シングルス
小林雅(1回戦敗退)
陶山(2回戦敗退)、小林和(2回戦敗退)
女子シングルス
古山(2回戦敗退)、小林奈(2回戦敗退)
男子ハレハレボール部
〈県新人戦〉
予選リーグ

サッカー部

〈高校サッカー選手権大会出雲地区予選〉
三刀屋1-2出雲農林
〈島根県高等学校サッカー新人大会〉
三刀屋0-6出雲工業
卓球部
〈一年生大会〉
男子シングルス
小林和(2回戦敗退)、陶山(1回戦敗退)
女子シングルス
小林奈(1回戦敗退)、古山(1回戦敗退)
〈県新人戦〉
男子団体 三刀屋0-3松江商業
男子ダブルス
小林和・陶山(2回戦敗退)
女子ダブルス
小林奈・古山(1回戦敗退)
男子シングルス
小林雅(1回戦敗退)
陶山(2回戦敗退)、小林和(2回戦敗退)
女子シングルス
古山(2回戦敗退)、小林奈(2回戦敗退)
男子ハレハレボール部
〈県新人戦〉
予選リーグ

卓球部

〈一年生大会〉
男子シングルス
小林和(2回戦敗退)、陶山(1回戦敗退)
女子シングルス
小林奈(1回戦敗退)、古山(1回戦敗退)
〈県新人戦〉
男子団体 三刀屋0-3松江商業
男子ダブルス
小林和・陶山(2回戦敗退)
女子ダブルス
小林奈・古山(1回戦敗退)
男子シングルス
小林雅(1回戦敗退)
陶山(2回戦敗退)、小林和(2回戦敗退)
女子シングルス
古山(2回戦敗退)、小林奈(2回戦敗退)
男子ハレハレボール部
〈県新人戦〉
予選リーグ

男子ハレハレボール部

〈県新人戦〉
予選リーグ

三刀屋2-0益田工業
三刀屋2-0松江東
予選トーナメント
三刀屋0-2安来
〈県選手権〉
予選リーグ
三刀屋2-0吉賀
三刀屋2-1松江東
予選トーナメント
三刀屋0-2松江北

女子バレーボール部

〈県総体〉
一回戦 三刀屋0-2津和野
〈県新人戦〉
予選グループ
三刀屋2-1松江農林
三刀屋0-2松江北
1勝1敗(予選グループ敗退)
予選グループ
三刀屋0-2川本
三刀屋0-2松江商業
0勝2敗(予選グループ敗退)

野球部

〈全国高校野球選手権島根県大会〉
一回戦 三刀屋5-9安来
〈秋季出雲地区決勝リーグ〉
三刀屋4-15出雲北陵
三刀屋15-8大社(準優勝)
〈秋季県大会予選〉
二回戦 三刀屋0-10遼摩
男子ソフトテニス部
〈県総体〉
個人選 5ペア出場1回戦負け
団体戦 一回戦 松江商3-0三刀屋
〈県選手権〉
団体戦 三刀屋A、大東B、遼摩B、益田I、Aのブロック進出
一回通過決勝トーナメント進出
一回戦 出雲高校3-0三刀屋
〈県新人戦予選〉
個人戦 7ペア出場 5ペア通過(予1ペア監督推薦)
団体戦 予選通過(ベスト16)
〈県新人戦本戦〉
個人戦 5ペア出場
周藤・伊藤、大田・森山、加藤・柳葉、小林・安井 一回戦負け

男子ソフトテニス部

〈県総体〉
個人選 5ペア出場1回戦負け
団体戦 一回戦 松江商3-0三刀屋
〈県選手権〉
団体戦 三刀屋A、大東B、遼摩B、益田I、Aのブロック進出
一回通過決勝トーナメント進出
一回戦 出雲高校3-0三刀屋
〈県新人戦予選〉
個人戦 7ペア出場 5ペア通過(予1ペア監督推薦)
団体戦 予選通過(ベスト16)
〈県新人戦本戦〉
個人戦 5ペア出場
周藤・伊藤、大田・森山、加藤・柳葉、小林・安井 一回戦負け

個人戦

周藤・伊藤、大田・森山、加藤・柳葉、小林・安井 一回戦負け

柳原・須山 二回戦負け
団体戦 一回戦 横田3-0三刀屋
女子ソフトテニス部
〈県新人戦予選〉
団体戦 一回戦 三刀屋1-2大東
個人選 4ペア予選通過
〈新人戦〉
団体戦 一回戦 三刀屋0-3出雲
個人戦 4ペア出場するが上位進出なし
男子ソフトテニス部
〈全国高校総体〉
一回戦 三刀屋0-2飛龍(静岡)
〈国体中国ブロック予選〉
一回戦 三刀屋2-3鳥取県選抜
〈県選手権〉
決勝 三刀屋12-1浜田(優勝)
〈県新人戦〉
決勝 三刀屋5-1浜田(優勝)
中国新人大会出場
一回戦 三刀屋4-4市立真(広島)
二代表決定戦
三刀屋8-1米子松陰(鳥取)
三刀屋5-2高梁(岡山) 準優勝
全国選抜大会出場

女子ソフトテニス部

〈県総体〉
三刀屋5-8安来(二回戦敗退)
〈県選手権〉
一回戦 三刀屋32-0松江市立女子
二回戦 三刀屋10-2出雲
準決勝 三刀屋3-2出雲商業
決勝 三刀屋2-4松江商業
〈全国選抜大会中国地区新人大会〉
一回戦 三刀屋6-0慶進(山口)
準決勝 三刀屋0-3倉敷中(岡山)
第3代表決定戦 三刀屋7-2慶進
全国選抜大会出場

陸上部

〈国体予選〉
石飛桃子 女子100M 決勝5位
〈県新人陸上大会〉
板持俊介 砲丸投 決勝3位(10m88)
横山公紀 砲丸投 決勝7位(8m80)
石飛桃子 女子100M 決勝7位
杉原光礼 3000M SC 決勝8位10分45秒68
藤原 隆 男子100M 準決勝進出
藤原 隆 男子200M 準決勝進出

剣道部

錦織哲也 男子800M 準決勝進出
〈県高校駅伝〉 三刀屋高校男子16位
男子団体
一回戦 三刀屋1-平田(2人残り負け)
個人選 男子内田裕人 ベスト32
女子団体
一回戦 三刀屋 浜田商業(3人残り勝ち)
二回戦 三刀屋 大社(4人残り負け)
〈県高校新人戦〉
男子団体
一回戦 三刀屋2-0出雲工
二回戦 三刀屋0-3松江北
個人戦 男子内田裕人 ベスト16
女子団体 一回戦 三刀屋0-4邑智

柔道部

〈県総体〉
団体戦 予選リーグ
三刀屋3-11浜田商
三刀屋4-10益田産
決勝トーナメント 一回戦
三刀屋0-15平田
団体5位、男子総合5位
個人戦 66kg級 3位 安井一裕
〈新人戦〉
団体戦 予選リーグ
三刀屋5-10益田東
三刀屋3-11遼摩
三刀屋1-4平田
順位決定戦
三刀屋4-11津和野
三刀屋1-4益田工
個人戦 73kg級 3位 中澤太輔
〈県高校選手権〉
団体戦
一回戦 三刀屋0(2人残り)出雲西
二回戦 三刀屋(4人残り)〇平田

祭出品推奨作品 若村寛人
入選 安井一裕、神田かおる
加藤 洋、内田紗代
松林奈都美、矢引志穂
写真部
〈高文連秋季写真コンクール〉
特選 三嶋千寿、廣田 唯(各二点)
大輝静香
〈県高校写真展〉
入選 春日詩織、三嶋千寿(各一点)
廣田 唯、大輝静香
吹奏楽部
〈第44回全日本吹奏楽コンクール県大会〉
Aの部 銀賞
〈第27回全日本アンサンブルコンテスト県大会〉
Aの部 フルーツ四重奏「金賞」
Bの部 打楽器七重奏「金賞」
Cの部 管弦八重奏「金賞」
フルート四重奏「銀賞」
管弦四重奏「銀賞」

合唱同好会

〈第42回島根県高等学校音楽コンクール〉
声楽の部「銀賞」
木管楽器の部(フルート)「銀賞」
ピアノの部「銀賞」「銅賞」

美術部

〈第36回島根県高校美術展〉
入選 絵画の部 藤原達也
入選 デザインの部 程月星也
入選 彫刻の部 藤原達也
入選 工芸の部 名原春香

演劇部

〈県高文連演劇部門出雲地区大会〉
最優秀賞
〈第27回島根県高等学校演劇発表大会〉
優秀賞

放送部

〈平成16年度全国高等学校総合体育大会式典放送アナウンサーオーディション〉
谷戸結香、都間 静(2名合格)
第3回県高文連日本音楽部門コンクール
優秀賞

ES
〈島根県高校生英語セミナー(CESS)2003〉
(島根県立少年自然の家) 2名参加

# 歓迎

新入会員の皆さん、支部先輩を是非お訪ね下さい。お待ちしております。

◎東京支部 幹事長 杉山 昭(昭34卒)

習志野市谷津 二二〇一三九一〇一

(04741516759)

◎名古屋支部 幹事長 大田和 麻生(昭43卒)

名古屋北区駒止町一三二八 (052191419792)

◎大阪支部 幹事長 奥田 鉄雄(昭31卒)

大阪市東淀川区菅原五一二七 (06132219391)

◎広島支部 幹事長 太田 憲二(昭55卒)

広島県西区中広町三一五〇 (082129210323)

◎鳥取支部 幹事長 大島 伸(昭50卒)

米子市河崎二八五九 (085912918652)

◎松江支部 幹事長 広野 正充(昭46卒)

松江市西川津町三二八〇一七 (085213110667)

◎出雲支部 幹事長 落合 久啓(昭37卒)

出雲市大津町九六八一五 (085312216819)

◎石見支部 幹事長 島田 昭次(昭30卒)

浜田市黒川町三七四〇一一二 (085512314669)

◎大東支部 支部長 鳥谷 敬(昭24卒)

大原郡大東町大字山田一一〇三 (085414315016)

◎加茂支部 幹事長 槇原 俊(昭19卒)

大原郡加茂町加茂中二二八一 (085414916503)

◎木次支部 幹事長 板持 達夫(昭38卒)

大原郡木次町里方八一三三 (085414211196)

◎斐伊支部 幹事長 福間 正徳(昭42卒)

大原郡木次町山方四七 (085414211358)

◎日登支部 幹事長 陶山 浩二(昭55卒)

大原郡木次町寺領九二七一 (085414213337)

◎西日登支部 幹事長 金山 信夫(昭32卒)

大原郡木次町上熊谷八〇三一五 (085414211397)

◎温泉支部 幹事長 川本 巧(昭47卒)

大原郡木次町大字平田六九九二 (085414810028)

◎仁多支部 幹事長 中林 安雄(昭17卒)

仁多郡仁多町三成本町 (085415411171)

◎三刀屋支部 幹事長 谷 茶賢(昭28卒)

飯石郡三刀屋町三刀屋九一一 (085414512760)

◎一宮支部 幹事長 須山 哲好(昭45卒)

飯石郡三刀屋町給下九〇五一 (085414513059)

◎鍋山支部 幹事長 鶴 亀正義(昭42卒)

飯石郡三刀屋町殿河内六九五 (085414512412)

◎飯石支部 幹事長 高尾 正治(昭41卒)

飯石郡三刀屋町多久和一一五四一四 (085414514074)

◎中野支部 幹事長 名原 哲男(昭49卒)

飯石郡三刀屋町中野四一〇一 (085414514797)

◎掛合支部 幹事長 竹下 幸治(昭41卒)

飯石郡掛合町掛合四七四一一 (085416210082)

◎吉田支部 幹事長 景山 稔(昭34卒)

飯石郡吉田村深野五〇 (085417510151)

◎頓原支部 支部長 鳥屋ヶ原 孝(昭27卒)

飯石郡頓原町頓原二七五一一 (085417210644)

◎頓原分校支部 幹事長 那須 繁弘(昭35卒)

飯石郡頓原町長谷二〇五五一一 (085417210602)

# 事務局だより

会員の皆様には、お元気で活躍のことと存じます。本年の雲南会総会も高24期の皆様方のご尽力により、盛会裏に終了することができました。新方式での総会も軌道に乗り、来年度担当の高25期幹事への引継ぎも終わりました。

さて、皆様方の母校はいよいよ今年創立八十周年を迎えることになりました。また時を同じくして、現在の普通科から島根県で初めての進学を主とした総合学科に生まれ変わることになりました。四月に入学してくる一年生が総合学科第一期生となります。これに伴い校舎も増設されることになりました。これまで前庭になりました旧図書館は玄関正面に移され、その跡地に総合学科棟が建てられることになりました。完成は来年度末の予定です。

## ◎この一年間の同窓会の行事

- 平成15年
- 2月16日 一宮支部総会
- 3月3日 雲南会入会式 (第55期卒業生)
- 6月7日 東京支部総会
- 7月24日 雲南会臨時幹事会
- 7月6日 大阪支部総会
- 12月 頓原分校支部会
- 12日 日登支部総会

- 7月28日 雲南会会計監査
- 8月17日 役員会
- 8月31日 三刀屋支部総会
- 9月5日 木次支部総会
- 9月21日 平成15年度雲南会総会 (三刀屋農村環境改善センター、高24期担当)
- 11月7日 西日登支部総会
- 平成16年
- 1月31日 雲南会総会実行委員会引継ぎ (高24期・高25期の幹事)
- 3月1日 雲南会入会式 (第56期卒業生)

◎創立八十周年記念事業の一環として記念誌と卒業生名簿を発刊いたします。記念誌一三、〇〇〇円・名簿一四、〇〇〇円です。ご希望の方は雲南会事務局へお申し込みください。又、名簿の協賛広告掲載にご協力いただけます方はお知らせください。

## ◎平成15年事務局員(校内幹事)の異動

- 転入
  - 勝部 秀子教諭(高21期)
  - 松江南高校六道分校より
  - 稲村 隆教諭(高32期)
  - 出雲高校より
  - 壽 信也講師(高46期)
  - 隠岐島前高校より
- この会報を発刊するにあたり、お忙しい中、たくさんの方々に執筆していただきました。心より感謝申し上げます。

平成14年度鳥根県立三刀屋高等学校雲南会会計決算書

(平成14年4月～平成15年3月31日)

◎収入の部

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減	摘 要
入 会 金	3,426,000	3,401,500	▲ 24,500	のべ、6,803人×500円
特 別 会 費	450,000	480,000	30,000	高14期、家庭科7期、高24期、高34期
雑 収 入	200	28	▲ 172	利息
合 計	3,876,200	3,881,528	5,328	

◎支出の部

(単位：円)

項 目	予 算 額			決 算 額	予 算 残 額	摘 要
	当 初	流用・充当	現 額			
総 会 費	450,000		450,000	450,000	0	高23期主催
支 部 総 会 費	330,000		330,000	210,000	120,000	大阪、東京、三刀屋、木次ほか
活 動 費	300,000		300,000	291,840	8,160	同窓会会報配布発送費
印 刷 費	430,000		430,000	383,939	46,061	同窓会会報
役 員 会 費	200,000	13,672	213,672	213,672	0	役員会等会議費
同窓会名簿作成費	800,000		800,000	800,000	0	名簿会計へ
異動職員餞別金等	30,000		30,000	5,000	25,000	餞別
慶弔見舞金	50,000		50,000	33,685	16,315	香典、弔電
体育後援会寄付金	300,000		300,000	300,000	0	体育後援会補助
通 信 費	10,000		10,000	2,950	7,050	切手、はがき代、その他送料
旅 費	750,000		750,000	639,732	110,268	支部総会出席等
事 務 費	100,000		100,000	59,969	40,031	事務用品
雑 費	120,000	▲ 10,900	109,100	87,006	22,094	新聞広告費等
予 備 費	6,200	▲ 2,772	3,428	0	3,428	
合 計	3,876,200	0	3,876,200	3,477,793	398,407	

差引残高 3,881,528円 - 3,477,793円 = 403,735円 …… 特別会計へ

上記監査の結果内容の正確なる事を認めます。

平成15年7月28日 監事 藤原克美 ㊟

監事 西村雄一郎 ㊟

平成15年度鳥根県立三刀屋高等学校雲南会会計予算書

(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

◎収入の部

(単位：円)

項 目	前年度予算額	予 算 額	比 較 増 減	摘 要
入 会 金	3,426,000	3,348,000	▲ 78,000	558人×500円×12ヶ月
特 別 会 費	450,000	450,000	0	高15期、高25期、高35期
雑 収 入	200	100	▲ 100	利息
合 計	3,876,200	3,798,100	▲ 78,100	

◎支出の部

(単位：円)

項 目	前年度予算額	予 算 額	比 較 増 減	摘 要
総 会 費	450,000	450,000	0	高24期主催
支 部 総 会 費	330,000	330,000	0	大阪、東京、出雲、松江、木次、三刀屋ほか
活 動 費	300,000	300,000	0	婦人部活動費、新卒者活動費、同窓会会報発送費
印 刷 費	430,000	420,000	▲ 10,000	学校概要、同窓会会報印刷費
役 員 会 費	200,000	200,000	0	役員会、三役会、期別会議費
同窓会名簿作成費	800,000	800,000	0	名簿会計へ
異動職員餞別金等	30,000	30,000	0	餞別等
慶弔見舞金	50,000	40,000	▲ 10,000	香典、弔電
体育後援会寄付金	300,000	300,000	0	体育後援会補助
通 信 費	10,000	10,000	0	郵券代ほか
旅 費	750,000	720,000	▲ 30,000	総会、支部総会、会議等出席
事 務 費	100,000	92,000	▲ 8,000	事務費用品
雑 費	120,000	100,000	▲ 20,000	新聞広告等
予 備 費	6,200	6,100	▲ 100	
合 計	3,876,200	3,798,100	▲ 78,100	